

第 60 回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JG09	中学	地学	千葉県
学校名		船橋市立若松中学校	
研究作品タイトル		天気の研究 パート8	
生徒氏名 (共同の場合はグループ名)		用松 里海	
指導教諭氏名		吉垣 俊一	

【動機】

「夕やけがきれいだと次の日は晴れ」という天気のことわざに興味を持ち、過去 8 年間、天気について研究を行ってきた。今年は①去年自分で発見した天気のことわざの解明②毎日の自分でたてた天気予報データをもとに表すスレットスコア③今年も天気のことわざを発見する。この 3 点を中心に研究を進めた。

【方法】

毎日天気予報をし、写真、データをとった。①去年つくった天気のことわざ「夕日が高い位置で沈むと次の日の午前中は曇りか雨」については観察と天気図では解明することが難しく気象衛星画像を用いた。②スレットスコアの公式に自分でたてた天気予報のデータをあてはめ計算した。③今までの毎日のデータの中からことわざを発見する。

【結果】

①気象衛星図から、遠い場所で発達した厚い雲の奥に夕日が沈み、その雲が翌日の午前中には私の家のほうまで流れてくることが分かった。②私のスレットスコアは「0.84」、的中率は「0.97」。③毎日のデータから、今年も2つのことわざを発見した。

【結論】

①「夕日が高い位置で沈むと次の日の午前中は曇りか雨」は間違っていなかった。②スレットスコアは的中率より低い。まれな現象を当てることはとても難しい。③「一日中曇りか雨でも、夕方 北西の空にオレンジ色の光が差せば、次の日の午前中は晴れ」「夜 曇りや雨で湿度が 80%以上の時、次の日の午前中は雨」ということが分かった。

【展望】

今後も新たなことわざをつくりたい。スレットスコア、的中率を 100%にしたい。また、他の地域でもこの手法が通用するのか試してみたい。それが新たな天気予報の手法の一つとして役立てられるよう研究を続けていきたい。